

## アンケート結果にみる授業の成果と課題（平成23年度）

学校教育講座・山田 誠

### 1. 授業の概要

#### （1）受講者

本授業は、学校教育基礎コース教育学専修の「教育学に関する専修科目」（後学期開講，選択科目）であり，主な対象は3回生である。

今年度の受講者数は，3回生11名であった。

#### （2）授業の目的・到達目標

本授業の目的は，まず，生涯学習を支援するための基礎的知識を身につけ，とりわけ成人期の学びの支援について，子どもの学びの支援と対比させ，また関連付けながら理解することである。また，各教育部門の取り組みにおいて，子ども期から成人期へと，生涯学習者としての成長をどのように支援することができるかを考えることができるようになるということである。

授業の到達目標は，次の4項目である。

1) 生涯学習，生涯教育に関する基礎概念，及び生涯学習関連施策の動向を把握し，説明できる。

2) 学習支援の基礎理論及びアンドラゴジーの原理について理解し，説明できる。

3) 生涯学習者としての成長や自己主導的学習の支援について理解し，説明できる。

4) 学校教育や社会教育等，各教育部門の特質を把握し，各部門において生涯学習者としての成長の支援にどのように取り組まれるべきかを主体的に考え，論述することができる。

#### （3）関連するディプロマ・ポリシー（DP）

学校教育教員養成課程の卒業時の到達目標（DP）のうち関連する項目としては，次の2つを想定している。

1) 教科・教職に関する確かな知識と，得意とする分野の専門的知識を修得している。（知識・理解）

2) 実践を省察し，自己の学習課題を明確にし，理論と実践を結びつけた学習ができる。（関心・意欲）

#### （4）授業の方法・形態

基本的には講義形式が中心である。ただし今回，授業が一方的な講義に終わらないようにする意味からも，受講者自身が調べた内容の発表及び質疑応答や受講者との対話を取り入れるよう試みた。結局，

授業前半部においては，受講者の発表に関する部分にかなりのウェイトを置くことになった。その具体的な内容については，次の（5）で触れる。

#### （5）授業概要と今回の取り組み

シラバスの授業概要には，「生涯学習及び生涯教育に関する基本的内容を理解するとともに，学習者の特質を踏まえた学習支援の必要性について，主として成人期を中心に考察する。さらに，成人教育学（アンドラゴジー）の提示する理論について，子どもの教育学であるペダゴジーに対比させ，また関連付けながら把握する。各教育部門において生涯学習者としての成長の支援にどのように取り組むことができるかを，生涯学習の基礎的能力としての「生きる力」の育成や，自己主導的学習の支援に関する議論等を手がかりにして検討する。」と記載した。

今回は，学習の支援について考えていくうえで，根本的な問題ともいえる，「学習とは何か？」「学びとは？」という事柄に，受講者各自がじっくりと向き合ってもらうことを重視し，「学習」や「学び」の概念，理論について調べたことを発表し合い，ディスカッションすることを取り入れた。それぞれの観点から，多岐にわたる興味深い内容の報告がなされた。「学習」や「学び」といえば，とりわけ教育学部生にとっては，常日頃当たり前のように入ってきた，感覚的には既にその意味を熟知している用語である。しかし，いざそれを概念的にとらえ直し，多様な研究領域からの言葉を用いて説明したり，整理したりしようとするとき，その「当たり前さ」や言葉の日常的使用において多々生じる語の意味の交錯にも悩まされ，あるいは，これらの概念が有する複雑さ，その歴史的背景，思想的背景等々によってもたらされる難解さと格闘することになる。それでも，混乱しがちな頭の中を，少しでも整理すべく立ち向かい，容易には「支援」などといった目論見を許さない「学習」や「学び」の奥深さ，手強さを感じ取ってもらえればと考えた。そこで，一通り発表と討議を終えた段階で，これまで扱ってきた内容を，できる限り各自の視点で整理し，位置づけ直してもらうことを期待して，小レポートの作成を指示した。しかし受講者にとっては，これはかなりやっ

かいな課題であったかもしれない。

## 2. 授業評価の方法

最終回の授業時に、授業全体を振り返っての、受講者による授業評価アンケートを実施した。アンケートは、4段階評価形式の質問が6項目と自由記述形式の質問が1項目である。回答者は11名全員。

## 3. アンケートの結果

### 【授業の内容に関する質問】

1-1. [関心・興味] この授業で取り上げられた事柄について、関心・興味をもてましたか。

4. そう思う：1名 (9.1%)
  3. まあそう思う：4名 (36.4%)
  2. あまりそう思わない：5名 (45.5%)
  1. そう思わない：0名 (—)
- 無回答：1名 (9.1%)

1-2. [将来への関連性] この授業の内容は、あなたの志望する進路・職業や今後の学習への取り組みにとって、関連性のあるものでしたか。

4. そう思う：0名 (—)
3. まあそう思う：9名 (81.8%)
2. あまりそう思わない：2名 (18.2%)
1. そう思わない：0名 (—)

### 【授業担当者の授業方法に関する質問】

2-1. [わかりやすさ] 教員の説明の仕方は分かりやすかったですでしょうか。

4. そう思う：0名 (—)
3. まあそう思う：8名 (72.7%)
2. あまりそう思わない：3名 (27.3%)
1. そう思わない：0名 (—)

2-2. [教材等] テキストや配付資料、黒板の使い方は効果的だったでしょうか。

4. そう思う：0名 (—)
3. まあそう思う：6名 (54.5%)
2. あまりそう思わない：5名 (45.5%)
1. そう思わない：0名 (—)

### 【あなた自身に関する質問】

3-1. [あなたの態度] あなたは、この授業（講義や提出課題、発表等）に積極的に取り組みましたか。

4. そう思う：0名 (—)
3. まあそう思う：5名 (45.5%)
2. あまりそう思わない：6名 (54.5%)
1. そう思わない：0名 (—)

### 【授業全体に関する質問】

4-1. [得るものがあったか] この授業により、考えが培われたり、得るところがありましたか。

4. そう思う：1名 (9.1%)
3. まあそう思う：10名 (90.9%)
2. あまりそう思わない：0名 (—)
1. そう思わない：0名 (—)

### 【自由記述】

授業で学ぶことができたこと、よかったこと、こう改善するとよいという指摘など、自由に記述してください。

以下、ここでは、改善すべき点に関するものを中心に、記述をピックアップしてみたい。

- ・はじめに何時間もかけた、「学習」について考える、発表する時間の必要性がよくわからなかった。少し専門的すぎて、頭がついていかなかったので、もっと身近なことを具体例として挙げるなどであると、授業に入りやすかったと思う。

- ・「学びとは何か」という最初の内容がその後の生涯学習（に関する内容）にどのようにつながっていったのか、わかりにくかったし、15回の授業の中での比重が多いように感じました。

- ・最初の課題の発表について、一人10分など、時間を決めてした方が良かったと思います。

- ・もっと、実際に生涯教育の例として、成人で学んでいる方を紹介してもらいたかった。

- ・授業名があまり興味を持ってそうにない名前なので、もっと別の名前がよい。難しいなと思ったが、生涯学習について調べてみると、おもしろかった。

- ・生涯学習の必要性について、自分なりに解釈することができた。先生がこと細かく説明してくれるため、わかりやすさはあったが、受け身な授業になりがちだった。

## 4. 考察と課題

授業の前半、受講者の発表にかなり時間を割いたため、後半は、計画した講義内容を消化しようとやや駆け足気味になり、一方向の講義が多くなってしまった。また、発表内容についての、授業者による全体的総括や位置づけも不十分であったと感じる。これは、上記の受講者からの指摘にも反映されている。それにもかかわらず、改善方策も提案してくれており、たいへんありがたく思う。

その他アンケート結果のなかで、授業への興味・関心が、以前の評価結果と比べて低くなっている。科目名に関する指摘もあり、検討が必要である。今回、教職と関連させ、教員研修の実施体系や大学における社会人（現職教員）受け入れ等についても取り上げたが、興味・関心を高める工夫、内容に関する意味づけがさらに必要だろう。